

## 平成29年度地域政策推進事業(地域創生推進事業) 一覧

(単位:千円)

番号	事業名	事業期間 (年度)	事業概要	事業費
1	空知地域人材確保推進事業	27 ~ 29	空知の経済活力を維持し活性化を図っていくため、ものづくり産業等の分野において、新規卒卒者など若者を中心とした人材の確保・定着を推進する。	873
2	空知型観光まちづくり推進事業	28 ~ 31	空知ならではの地域資源を活かした新たな観光モデルの形成に向けた取組を支援するとともに、北海道空知地域創生協議会と連携して空知の知名度向上のための情報発信を行う。	3,837
3	空知地域食品ブランド化・ワイン産地づくり強化事業	27 ~ 31	空知地域の食のブランド化や空知産ワインの産地基盤づくりを推進するため、地場産品を活用した新たな商品開発による高付加価値化やワイン生産者への支援を行うとともに、道内外へのプロモーション等により販路拡大を図る。	3,213
4	空知農業振興事業	27 ~ 32	地域の基幹産業である農業の新しい姿を目指し、地域の取り組みを支援することにより、地域農業を理解し、将来の農業・食品関連産業を支える人材の育成を図る。	2,580
5	集落コミュニティ再生事業	29 ~ 31	農村集落の維持・活性化に向け、集落づくりを主体的に行おうとする住民の誇りと意欲を醸成し、集落のコミュニティの強化と交流等の取組を促進する。	836
6	空知産業遺産活用促進事業	27 ~ 31	平成20年度に策定した「元氣そらち！産炭地域活性化戦略」に基づき、炭鉱遺産群を活用した観光・まちづくりを図る。	2,289
7	産業遺産シビックプライド醸成事業	28 ~ 31	空知地域の炭鉱遺産群をはじめとした産業遺産の魅力ある地域資源を活用し、地域住民の「シビックプライド(地域に住む人々の誇りや自信、アイデンティティ)」を醸成し、産炭地域の活性化を推進する。	572
<b>空知総合振興局計</b>			<b>7事業(新規1事業)</b>	<b>14,200</b>
8	いしかり元気な農村ビルドアップ事業	27 ~ 31	地下かんがいを活用した水稻直播等先進的な省力化農業技術の普及による、農家経営の安定化、農業者の定住や後継者確保を図るとともに、大都市札幌を抱える立地条件を活かし、都市住民への農業・農村の魅力発信や農商工連携・6次産業化の支援を行う。	2,110
9	「ようこそいしかり」誘客促進事業	27 ~ 31	台湾を中心とするアジア圏をメインターゲットとして、SNSによる情報発信や空港お出迎えイベント等の実施により管内誘客を促進するとともに、LCC就航や新幹線開業効果を活かしたプロモーションを展開し、国内外からの交流人口の拡大を図る。	4,151
10	地域特性を活かした総合的な少子化対策推進事業	28 ~ 29	管内市町村の合計特殊出生率は、札幌市を含め4市町が道内ワースト4を占めている状況にある。このことから、管内の出生率向上に向け、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりなど少子化対策の取組を推進する。	1,155
11	シェフを活用した石狩ブランドづくり事業	28 ~ 31	地域のこだわりの生産物を「石狩ブランド」に導くため、具体的な生産物(食材・加工品)を求める食・調理の専門家であるシェフ(料理人)を対象とした生産者との交流を推進する。	1,349
12	いしかり農業福祉パートナー活用事業	29 ~ 31	農業分野及び障がい者福祉分野の業界相互の理解を醸成しつつ、障がい者就労支援施設への農作業の委託により、不足する農業労働力の補てんなど、いしかり農業の生産力の維持・確保と障がい者の就労機会の拡大を図る。	1,020

13	「さっぽろ圏」若者愛着醸成事業	29 ~ 31	若者の地元定着を促進するため、石狩管内の大学生と地域おこし協力隊との連携による地域活動を通じ、大学生の石狩地域への愛着を醸成する。	1,315
石狩振興局計			6事業(新規2事業)	11,100
14	家と人の循環によるまちづくり	27 ~ 31	積極的な空き家の発掘と流通を促進し、行政と民間が連携した住宅や景観に関する取り組みを展開することにより、新規居住者などへの住宅供給を増やし、定住人口増加につながるまちづくりを行う。	1,308
15	しりべし新規ブランド特産農産物拡大プロジェクト事業	27 ~ 31	地域農業の持続的発展が必要であるため、良質で収益性の高い特産農産物の生産を拡大する取組を推進する。	775
16	ナマコ密漁未然防止対策事業	29 ~ 29	日本海漁業振興対策を推進する上で喫緊の課題であるナマコの密漁防止対策の強化を図るため、検討組織を立ち上げ、危険を回避し地域で取り組むことが可能となる新たな未然防止対策の確立を図る。	1,843
17	しりべしフードサポート事業	27 ~ 31	特産品の域内消費拡大や道内外・海外への販路拡大のため、イベントと連携した物産展及び食関連事業者と飲食店による交流会を開催、外国人観光客が多い管内ホテルにて海外ニーズの把握、情報収集を行う。	1,699
18	後志・西胆振広域観光推進事業	28 ~ 31	後志・西胆振に観光客を誘致するため、今後増加が見込まれる外国人観光客に対するホスピタリティ向上のための勉強会など、外国人への対応力の向上を図り両地域による連携プロジェクトにつなげる。(事業費1,733 後志857、胆振876)	857
19	新たな交通環境を活かした後志観光の魅力向上事業	28 ~ 31	新幹線開業など交通体系の変化に対応した国際リゾートエリアの更なる発展のため、後志地域の「食」やスポーツツーリズムなどを最大限活用し観光誘客を促進、通年型・滞在型観光を推進する。	4,332
20	北海道新幹線開業等”しりべし”交流拡大推進事業	27 ~ 31	北海道新幹線開業による交流人口の拡大を、将来の全線開通を見据えた長期的な視野で推進する。	2,386
後志総合振興局計			7事業(新規1事業)	13,200
21	いぶり・6次観光推進事業	27 ~ 32	胆振の強みである1次、2次、3次産業のバランスのとれた地域特性を活かし、2020年の東京五輪の開催、民族共生象徴空間の開設を見据え、効果的に魅力を発信していくことにより、国内外からの誘客の促進、交流人口の拡大を図る。	10,071
22	胆振ものづくり産業活性化推進事業	27 ~ 32	ものづくり展示会への出展によるプロモーションの実施や、高校進路指導教員を対象とした工場見学の実施、また、高校生や若年求職者に対し、ものづくりの魅力やものづくり産業への職業意識醸成を図るため、「ものづくりへの道しるべフェア」を開催するなど、管内ものづくり産業の振興や次世代を担う人材育成の取組を推進する。	1,153
23	後志・西胆振広域観光推進事業	27 ~ 31	後志・西胆振に新たな国内外からの観光客を誘致するため、両地域が一体となってニーズの多様化など様々な課題に対応することとし、今後増加が見込まれる外国人観光客に対するホスピタリティ向上のための語学研修や互いの観光地に関する知識の習得のための研修会開催など、外国人への対応力の向上を図る。(事業費1,733 後志857、胆振876)	876
胆振総合振興局計			3事業(新規0事業)	12,100

24	ひだか戦略総合情報発信事業	28 ~ 32	日高管内の地域資源を活用し、地域の魅力を体感できる観光プログラムの開発等を促進することにより通年型・滞在型観光への展開を図るとともに、海外から北海道への注目が高い中、来道者の増加が見込まれることから、日高管内の魅力発信を行うことにより知名度向上とイメージアップを図り交流人口の増加につなげる。	5,016
25	馬産地対策・観光推進事業	29 ~ 32	ホッカイドウ競馬や門別競馬場など日本一の馬産地としての観光資源や知名度を活用し、効果的に日高地域の観光情報や管内の多様な食・特産品を道内外へ広く紹介することにより、知名度向上とイメージアップを図り交流人口の増加につなげる。	1,470
26	農林業被害低減のためのエゾシカ対策事業	28 ~ 32	日高管内のエゾシカによる農林業被害額は、5.3億円と前年と比べ減少しているが、生息数等は未だ高い水準にあることから、その数の低減を図ることが必要であり、エゾシカ個体数の減少と農林業被害の低減を図るため、エゾシカの捕獲促進及び有効活用の拡大を図る。	428
27	農業被害等防止のためのヒグマ対策事業	28 ~ 31	ヒグマによる農業被害防止等のため、デントコーン畑に侵入したヒグマの追い出し及び捕獲方法等の確立を目的とする。	413
28	日高アイヌ文化魅力発掘事業	29 ~ 31	平成32年の東京オリパラに向けアイヌ文化のPR活動が活発化する中、「日高アイヌ」としてカテゴリ化した魅力の発掘・発信に取り組むことにより、アイヌ文化を軸とした地域づくりと交流人口増加をめざす。	1,729
29	日高軽種馬産地活性化推進事業	28 ~ 32	日高が持つ「全国で唯一の馬産地」「温暖少雪な気候風土」「港・空港に近い立地」といった強みを生かし、軽種馬生産の構造改革や馬関連産業の育成、新規就農者の育成・確保に取り組み、地域の活性化を図る。	1,000
30	日高地域コンブ生産安定対策事業	27 ~ 31	日高管内の基幹漁業であるコンブ漁業については、厳しい漁業環境を背景に、着業者の減少と高齢化が進行するとともに、生産量が年々減少しているため、新たな漁業生産体制の整備や漁場環境の適切な把握など、総合的な対策を進め、コンブ漁業の生産安定を図る	544
日高振興局計			7事業(新規2事業)	10,600
31	「北の縄文」魅力発信・ファン拡大推進事業	27 ~ 31	世界遺産登録を見据える縄文文化遺産について、関係機関との連携により観光資源として戦略的な活用を促すほか、地域住民の理解促進・ファン拡大を図り、さらに管内に所在する縄文の一元的な魅力発信により、観光地としての認知度を向上させ、観光資源の地域偏在の解消・リピーター獲得、交流人口の更なる拡大を目指す。	1,420
32	道南地域食振興ネクストステージ事業	27 ~ 31	北海道新幹線開業を機に、道南の食のブランド力の更なる強化を図るため、道南の一次産業と二次・三次産業を結びつけることにより新たな食の魅力を創造するとともに、「道の駅」等の観光物産施設の機能強化支援、海外展開を含めた販路拡大等に係る支援など、食に携わる人材のレベル向上を図り、食産業の振興に資する。	1,650
33	北海道新幹線開業による観光地域づくり推進強化事業	27 ~ 31	北海道新幹線の開業効果を地域で最大限享受するため、道南を初めて訪れた方々がリピーターとなっていただけのような広域観光の取組を協力に進めるとともに、青森県との連携による青函広域観光等の取組を推進する。	3,289
34	渡島スマートアグリ構想推進事業	27 ~ 31	将来の農家人口半減の予測を踏まえ、産学官連携のもと、渡島農業の基幹をなす施設園芸を中心とした複合経営の効率化・高度化(=スマートアグリ)を図ることにより、人口減少社会に対応した持続可能な次世代型営農スタイルの構築を目指す。	2,000

35	農と浜のコンパクト ツーリズム促進事業	27 ~ 31	北海道新幹線の開業により増加が見込まれる観光客を対象に、短時間での移動が可能な管内の特性を活かした体験観光や施設情報を発信することにより、周辺農・漁村部への入り込みを促進し、地域産業の振興等による農山漁村の活性化を図る。	415
36	みんなですすめる木 づかいプロジェクト	27 ~ 31	地域材(スギ・ブナ)を活用した、新たな利用方法の展開を検討するため、既存の木づかいプロジェクト、地元大学生と屋台・空き家のワークショップの活動を通じて、地材地消と木製品製作の意識向上を図り、林業・木材産業への就業支援と若年層の定住化促進を目指す。	2,065
37	渡島水産塾～担い手 育成推進事業	27 ~ 31	漁業に接する機会が少なかった新規高卒予定者を対象に、コンプをモデルとした体験学習を実施することにより、広く地元の学生に対し、水産業へ関心を持つ機会を提供し、基幹産業の担い手育成と人口減少の抑制を図る。	708
38	就業・定住促進対策 推進事業	27 ~ 31	北海道新幹線開業を契機に、渡島地域の農林水産業・医療介護福祉分野への就業及び定住を推進するため、市町と連携を図りながら、就業情報や定住に必要な生活・住宅情報を一元化し広く発信するとともに、就業体験モニターツアーを実施により、管外からの新規就業者を呼び入れ、産業等の振興と人口減少問題への対策を図る。	1,153
渡島総合振興局計			8事業(新規0事業)	12,700
39	檜山地域における新 幹線観光対策事業	27 ~ 31	北海道新幹線開業を生かし、檜山地域への観光客の流入促進及び経済波及効果享受するため、重点的に檜山地域の食の磨き上げ、販路拡大及び観光振興の取組を推進する。	7,000
40	檜山地域企業立地促 進事業	27 ~ 29	管内の立地環境状況調査や立地企業等に対するきめ細やかなフォローアップ調査により、管内の原材料(特産品)や空き物件情報などの誘致資源等を把握するとともに、各町・各商工会と情報共有化を図るなど、地域での創意工夫した企業誘致活動を促進する。	380
41	檜山農業生産力底上 げ・人づくり推進事業	27 ~ 31	既存作物の生産性向上や新たな作物や技術の導入等により生産力の底上げを図るとともに、地域の担い手の育成・支援体制の整備支援や就農モデルケースへの集中支援により人(農業担い手)づくりを進め、檜山地域の経済・社会を支える檜山農業の持続的発展を図る。	760
42	みんなで学棒(まなぼ う)檜山の木利用促進 事業	27 ~ 31	道南地域特有の造林樹種である「スギ」について、檜山管内での需要拡大を図り、スギの利用を道内に広く波及させるため、建築関係者等との検討会議を開催するとともに、教育機関と連携した地材地消講座や一般消費者に対する普及PRを実施する。	380
43	ひやまの「稼ぐ漁業」 ボトムアップ推進事業	28 ~ 29	檜山管内の水産物の生産環境や産地価格の形成過程などについて、漁業者や加工流通業者等の関係者が連携・情報共有し、水産物の価格向上を目指すとともに、消費者の認識を向上させ、漁業者の所得向上と地域経済の活性化を図る。	950
44	輝け地域おこし協力 隊！交流連携プロジェ クト事業	29 ~ 31	交流人口拡大のため、研修会の開催等により、地域おこし協力隊の地域力アップを図るとともに、地域おこし団体等による文化・歴史を通じた交流事業等、津軽海峡交流圏の形成を推進する事業を実施する。	1,130
檜山振興局計			6事業(新規1事業)	10,600
45	道北地域交流人口拡 大推進事業	27 ~ 31	交流人口の拡大により道北地域の地域振興を図るため、北部においては天塩川、中部においては大雪山をテーマとして地域の魅力を発信するとともに、貴重で豊かな自然環境を保全する取組も併せて実施し、さらに国際交流には欠かせない旭川空港国際航空路線を安定的・継続的に維持・拡大する取組を展開する。	5,828
46	「食」や「食文化」を観 光資源とするフード ツーリズム推進事業	27 ~ 31	「食」や「食文化」をテーマとした新たな旅行商品の提案や既存の旅行商品に、「かみかわ食べものがたり」をベースとした「食」や「食文化」にまつわる観光素材の魅力を加え、地域における観光の裾野を広げるための取組を展開し、上川地域への誘客促進を図る。	2,504

47	持続可能型上川農業 確立推進事業	27 ~ 31	ビニールハウスによる施設園芸への省力化技術導入や、 水稲の低コスト栽培技術の確立、収益性の高い新規作物 の導入検討など、さらなる省力化・高収益化に向けた取組 を推進する。	1,282
48	地域森林資源利用推 進プロジェクト事業	27 ~ 31	利用期を迎えた人工林資源の地域における循環利用を推 進し、山村地域の活性化を図るため、林地未利用材を有効 活用した木質バイオマスのエネルギー利用促進や、道産 材家具利用拡大を図り、地域特性に応じた資源管理体制 を構築する。	1,411
49	かみかわ地域産業担 い手対策事業	27 ~ 31	今後の人口減少社会を見据え、地域全体を支える産業（農 業・林業・商工業）の担い手・後継者を確保・育成するた め、地域において産業別の課題に応じた取組を進めるとと もに、道外に向けて上川地域の魅力をPRし、雇用の拡大 を図る。	2,094
50	スポーツ合宿ブランド 化推進事業	27 ~ 31	2018年の平昌オリンピック、2020年の東京オリンピックの開 催を控え、スポーツ合宿誘致に係る機運の高まりなどス ポーツへの注目が集まっている。このため、関係市町村や 関係機関等と連携し、地域の実情・実態に応じた合宿の誘 致のほか、スポーツ活動に取り組む人たちの裾野を広げ、 地域の活性化を図っていく。	326
51	かみかわ地域連携創 出事業	27 ~ 31	地方創生の取組として市町村が策定した市町村総合戦略 の効果的な推進及び地域の持続的発展を図るため、振興 局、市町村、団体・企業、農業者など、管内の多様な主体 の若手が参画する「かみかわ未来会議」を開催し、上川地 域における広域的な人的ネットワークの構築・強化や、人 材育成に向けた取組を実施する。	755
上川総合振興局計			7事業（新規0事業）	14,200
52	るもいの豊かな海と森 を育む事業	27 ~ 31	留萌管内の豊かな水産資源や森林資源を持続的に有効 活用するため、関係機関と行政が連携し、海と山が一体と なった取組や新たな販路拡大の仕組みづくりなどを行い、 地域の産業振興や雇用確保を図る。	1,241
53	留萌健康産業展開促 進事業	27 ~ 31	留萌地域の特性を活かした健康産業を展開し産業としての 確立を促すため、地域資源の活用や地域住民等との連携 により各種プロジェクトを推進する。	1,071
54	るもい産業担い手支 援モデル事業	27 ~ 31	地域における後継者確保対策、起業や新たな事業アイデ アの具体化などの課題に対し振興局としても地域と一体と なって伴走支援をしていくための取組を推進する。	1,356
55	るもい地域戦略的魅 力創造発信事業	28 ~ 31	管内では、体験観光メニューの磨き上げ、教育旅行ルート の造成、近隣大都市へのPR等を行ってきた。今後の観光 入込客数増加のためには、地域を知る人材が地域を思い 地域に根ざした活動をするための基盤整備が重要となっ ている。また、管内入り込みの9割を占める近隣大都市へ のPRを実施すると共に、留萌管内を直接目的地とするた めの道外へのプロモーションへも注力する必要がある。	2,892
56	るもい“農”フル活用推 進事業	28 ~ 31	留萌地域においては、良食味米の生産を中心に、小麦や 大豆などの畑作や果樹、野菜、花き、酪農・肉牛などバラエ ティ豊かな農業を展開し、地域を支える基幹産業となっ ている。今後も引き続き留萌地域の特徴を最大限発揮するた め、水田のフル活用及び硬質小麦（ルルロツソ）の産地化 を推進する。	1,423
57	るもい暮らし魅力発信 （移住・定住促進）事 業	28 ~ 29	各市町村が個々に行っている移住定住に係るPR活動をよ り効果的に実施するため、振興局及び管内市町村が連携 し、るもい地域の魅力を一体で発信する等の取組を進め ることにより、来萌及び移住体験等の促進を図る。	571
58	豊かな恵みを活かす 水産業の振興支援事 業	29 ~ 30	ホタテガイ養殖業の持続的発展を目指し、漁業者、民間企 業、関係機関が連携し、生産工程の効率化や就労環境の 改善に向けての取組を推進する。	504

59	増毛山道推進事業	29	増毛山道がH28年10月に全線開通したことから、自然や歴史・文化等について、道民等からの一層の理解と利活用の促進、及び知識の普及を図るため、NPO法人及び石狩振興局と連携した推進事業を実施する。	821
60	天売島におけるアザラシ対策事業	29 ~ 31	北海道アザラシ管理計画に基づき、天売島・焼尻島の漁業被害を軽減するため、夏期におけるアザラシの周年定着個体の半減を行うための捕獲・追い払い手法の検討を行う（天売島におけるアザラシの追い払いの試行）。	721
留萌振興局計			9事業(新規3事業)	10,600
61	てっぺん宗谷へ！ コラボDE移住・担い手対策事業	27 ~ 31	人口減少や基幹産業の担い手不足が喫緊の課題とされている宗谷地域において、「発信力」「戦略力」「地域力」の強化を図り課題解決へと導くため、ポータルサイトや漁業支援フェアなどによる情報発信、高校生を対象としたワークショップやプロモーションを実施する。 (事業費 Act 1、Act 3 地域創生推進事業5,554 Act 2 地域政策コラボ事業3,538)	5,054
62	最北端・宗谷の「ショク×タビ」プロジェクト形成促進事業	27 ~ 31	管内の人口減少等によりマーケットが縮小する中、食と観光の企業間連携や地域食材の活用が十分ではないことから、地域における意欲的な事業者が連携する場を形成するとともに、個別相談やプロモーション、セミナー開催などといった地域企業等へのビジネスサポートを通じて、食と観光の一体的なプロジェクトを創出し、宗谷の食・観光関連産業の底上げを図る。	1,897
63	国境を越えた交流 海外との経済交流促進事業	27 ~ 31	農水産物の販路拡大や物流促進による地域経済の活性化を目指し、稚内港を拠点としたサハリンへの輸出を促進する。また、交流人口の増加による地域の活性化のため、近年宗谷管内入込数で上位を占める台湾人、サハリンのロシア人、香港人及びタイ人観光客をターゲットに、国内外の観光関係者との交流支援や地域と連携した売り込み等を行う。	2,289
64	アザラシ対策事業	27 ~ 29	ゴマフアザラシの周年定着個体数による漁業被害軽減を図るため、地域実態に即した捕獲手法検討及び捕獲体制を構築する。	1,053
65	持続可能な酪農経営の確立と生産基盤強化対策事業	27 ~ 29	宗谷管内は1戸あたりの草地面積が他管内に比べ広く、近年は離農等の引き受けにより1戸あたりの草地面積が拡大しているため、適切な栽培管理ができずに草地の4割が雑草で占めている状況にある。牧草の品質低下は生乳生産量の減少を招く要因となっていることから、草地の状況に合わせた適切なほ場の利用の方法を探ることにより、効率的なほ場管理の手法を提案する。	807
宗谷総合振興局計			5事業(新規0事業)	11,100
66	人口減少社会を見据えたオホーツク地域来訪促進事業	28 ~ 29	地域が有する食や、知床・流水をはじめとした豊かな地域資源の情報を掘り起こして厳選し、オホーツクのファンや観光客の更なる来訪を促進して、管内への交流人口の増加や地域の観光産業の活性化を図り、将来的な定住や産業振興に繋げる。	6,199
67	オホーツク食の地域ブランド形成推進事業	28 ~ 31	地域資源を活かした多様な産品を管内外・道内外に発信するとともに、商品開発等を分野横断的に推進し、食関連産業の総合的な振興を推進するとともに、オホーツク及び各地域の魅力を広く発信する。	3,250
68	オホーツク地域農林水産業振興促進事業	28 ~ 30	一次産品の質を高めて競争力を強化するとともに、生産性の向上や安定生産による経営力の強化、海外への販路拡大により、担い手の収益を高め、一次産業の活性化と雇用促進を図り、持続可能な地域社会の実現を目指す。	4,751
オホーツク総合振興局計			3事業(新規0事業)	14,200
69	交流人口拡大に向けた食と観光推進事業 (69-1、69-2、69-3、69-4)	27 ~ 31	広大な十勝平野を有し北海道らしい雄大な景観と農業を基幹産業とした十勝地域の魅力を売込み、人を呼び込むため、十勝の「食」ブランド向上に向けた取組や道外観光客の誘客のための観光プロモーション等の取組を展開し、更なる交流人口の拡大や産業の振興を図る。	10,768

69-1	元気な十勝！「食と観光」復興加速化事業	29 ~ 32	台風被害からの復興の加速化及び地域経済活性化のため、十勝の強みである食と観光を最大限活用した誘客促進や魅力発信等の取組を重点的に推進する。	(6,966)
69-2	とちかち「牛肉」ブランド輸出拡大推進事業	27 ~ 31	北海道畜産公社十勝工場が道内初の米国輸出型の食肉処理施設を整備することを見据え、十勝産牛肉を中心とした管内農畜産物の海外への販路拡大を効果的に進める各種取組を行うとともに、日豪EPA協定の発効をはじめとする国際貿易情勢により輸入牛肉との競争の激化が想定される中、十勝産牛肉のブランド力向上に向けた取組を行い、管内の経済を支える酪農・畜産業の持続的な発展を促進する。	(1,973)
69-3	とちかち地域資源活用・価値創造事業	27 ~ 31	十勝管内においては豊富なバイオマス資源を利用した再生可能エネルギーの創出に向けた取組やカーボン・オフセットの取組が始まっており、地域の住民に対しそれらの取組の普及啓発を行うことにより、取組に対する理解を促し利活用の促進を図る。また、環境関連イベントでの環境学習体験等の取組を通じて、十勝流エコライフの定着・促進を図るための取組を行う。	(749)
69-4	とちかち自然の魅力アップ観光推進事業	29 ~ 32	日本百名山の1つである大雪山系「トムラウシ山」の山岳環境問題(山のトイレ問題)に取り組み、貴重な環境を保全すると共に魅力ある観光資源を提供することで、利用を促進し、観光の振興を図る。	(1,080)
70	十勝地域における航空宇宙関連の取組推進・普及加速事業	28 ~ 32	航空宇宙関連産業の集積などに向け、十勝の取組を情報発信するとともに、企業誘致支援や未来の航空宇宙産業を支える人材育成等の取組を地域と連携して実施。	1,635
71	輝らっ！とちかち女性活力(ジョカツ)創造事業	27 ~ 31	十勝で活躍されている女性など働き方の参考となるロールモデルの輩出、活躍されている女性をつなぐネットワークづくりなど、女性の活力により本人も地域も輝く一助となるような取組を展開。	797
十勝総合振興局計			3事業(新規0事業)	13,200
72	オールくしろ魅力発信事業	27 ~ 32	くしろ地域の交流人口を拡大し地域の活性化を図ることを目的に、「ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」を母体として、道東自動車道の釧路延伸を契機とした道央圏等へのプロモーション活動を通じてくしろ地域の様々な魅力を発信する。	3,600
73	道東くしろ誘客促進事業	28 ~ 30	平成28年3月に阿寒ICが開通するなど、道東道釧路延伸は観光客の入り込みに追い風となっているが、この好機を逃さず管内の魅力を広く国内外にPRしていくことが必要であり、情報発信を強化するとともに、プロモーション活動を継続して、交流人口を拡大し地域経済の活性化を図る。	1,425
74	輝ける北の大地で羽ばたく根釧酪農チャレンジ事業(釧路)	27 ~ 31	根釧市町村・農協関係者が、根釧酪農・地域の持続的発展に向け、27年2月に策定した「根釧酪農ビジョン」の方向性に即し、関係者と連携しながら、「草地型酪農の推進」、「担い手の育成確保」及び「高付加価値化の推進」に資する取組を推進することにより、根釧の基幹産業である酪農生産基盤を強化するだけでなく、人口減少社会に対応し、地域経済社会の維持・拡大を図る。	4,875
75	「くしろ」移住・定住推進事業	29 ~ 31	人口減少下における「くしろ」の持続的発展に向け、交流人口の拡大及び移住・定住による人口の増加につなげるため、地域が連携して三大都市圏などの都市部の現役世代などに向けて、地域の魅力発信の強化を図るとともに、受入体制の整備に向けた取組を進める。	1,200
釧路総合振興局計			4事業(新規1事業)	11,100

76	少子・高齢社会における子育て支援事業	27 ~ 31	全国的にも大きな課題となっている「少子化(人口減少)」に、一定程度の歯止めをかける必要があるため、地域つながりを復活させるとともに、高齢者の経験等を活用した地域で安心して子どもを預けられる環境を整え、子育て世帯の負担軽減を図る。	727
77	根室地域医療従事者確保事業	27 ~ 31	根室地域として、医師、薬剤師、看護師及び准看護師の確保対策を行うこととし、関係機関の連携により、地域医療を担う医療系学生が根室地域の居住に関心を向けるための体制を構築する。	560
78	輝ける北の大地で羽ばたく根釧酪農チャレンジ事業	27 ~ 31	根釧地域の酪農について、TPPなどの農業の国際交渉の進展や離農・農業従事者の高齢化、飼料価格の高止まりなど様々な課題を抱える中で、市町村やJA、企業等が連携し、「根釧酪農ビジョン」に掲げる根釧酪農や地域の将来像の実現に向けて、地域の強みを活かした取組を進める。	2,103
79	根室水産物ブランド化推進事業	29 ~ 31	ロシア水域におけるさけ・ます流し網漁業が禁止されたことにより、代替漁業で漁獲されるサバ類・マイワシや、加工原料をサケ・マスから国産原料へ転換したことに伴う新商品などのPRを行い、根室地域水産物のブランド化を推進し、代替漁業の自立と地域で循環する関連産業の確立を図る。	2,602
80	ねむろ食の商品力強化事業	27 ~ 31	根室地域で生産される商品の付加価値を向上させるために、根室の良質な食資源を、作り手の思いが伝わるよう商品力を強化し、根室地域の食のブランド力を高め、さらなる販路拡大・強化を図る。	1,083
81	千島桜ねむろプロジェクト推進事業	27 ~ 29	北方領土問題の解決に向けた環境整備の促進を図るため、根室管内の「食」を活かした取組を通じて、北方領土問題の普及啓発及び隣接地域の振興対策を促進する。	584
82	移住交流の促進に向けたねむろの魅力発信事業	27 ~ 31	移住希望者を根室管内に呼び込むために、移住希望者への働きかけを行うとともに、「ねむろ地域の魅力」をPRするため、ブログポータルサイト等を活用した継続的な情報発信を実施するほか、地域おこし協力隊員を中心に管内移住者のネットワークを形成し、地域における移住促進に向けた意識醸成を図る。	881
83	ねむろ観光交流推進事業	27 ~ 31	観光面における根室地域の域外からの交流人口の拡大を図るため、地域の特性・資源を活かし、体験型観光に携わる管内民間団体等が連携した取組への支援や、道東4振興局が連携しての戦略的な個人旅行の誘致により、豊かな自然環境、地域の産業・文化などと調和した観光の確立及び地域の優位性を生かした観光地づくりを推進する。	750
84	戦後70年”忘れてはいけぬ物語”～次世代への北方領土返還要求運動継承事業	27 ~ 29	北方領土問題に対する理解の促進を図り、さらなる返還要求運動の後継者育成を図っていくため、根室管内に残されている北方領土にゆかりのある建築物、遺構、文書図画、石碑、埋もれているエピソード等や北方四島側に残されている日本建築物等について、有形・無形の北方領土関連「遺産」と位置付けて掘り起こし、「忘れてはいけぬ物語」として後世に伝える。	810
根室振興局計			9事業(新規1事業)	10,100
全道計			84事業(新規10事業)	169,000



平成29年度地域政策推進事業(地域政策コラボ事業)一覧

(単位:千円)

番号	事業名	事業期間 (年度)	事業概要	事業費
1	北海道空知魅力発信事業	28 ~ 31	空知ならではの観光・物産やライフスタイル、生活環境などに関する情報を総合的に発信し、空知地域に対する関心や理解度の向上、首都圏等での知名度向上を図り、人とモノの流れの創出をめざす。	6,493
2	「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業 【推】	29 ~ 31	札幌圏における人口減少問題に適切に対応するため、道や市町村をはじめとする関係機関の連携体制の下、札幌圏への人材還流や学生の定着促進に向けた取組を実施する。	5,994
3	しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプラン推進事業	29 ~ 31	冬季のリゾート地域の豊富な労働力を夏季の農業等人手不足分野に結びつけ、移住人口の拡大を図るとともに、移住者への総合的な支援体制を整備し、通年雇用化等による定住を推進	3,985
4	ShiriBeshiグローバル人材育成プラン	29 ~ 31	国際リゾートが複数展開(ニセコ・ルスツ・キロ)し、外国人観光客や外国人住民が多い国際性豊かな後志の地域性を活かし、国際力・起業家精神・地域への誇りを有したグローバル人材の育成に取り組む。	2,014
5	住みたい・訪れたい「いぶり」地域連携事業	28 ~ 32	胆振地域への移住・定住の促進及び交流人口の拡大を図るため、管内市町と連携し、移住フェアへの合同出展や、世界的な価値を有する洞爺湖有珠山ジオパークを中心に胆振三大遺産の魅力をPRするイベント等の実施を通じ、地域創生に向けた取組を推進する。	3,030
6	オールひだか魅力発信推進事業	29 ~ 30	平成29年度の高規格幹線道路日高自動車道日高厚賀IC開通を契機として、広域的な取組を行い、地域の気運を醸成するとともに、地域資源の活用促進や地域の魅力向上と発信力強化に向け、国や日高管内各町、関係機関等が連携してプロモーション活動などを実施することにより、管内観光入込客数の増加を図る。	1,946
7	おしま交流人口拡大促進事業	29 ~ 31	新幹線開業による更なる交流人口の拡大を目的に、外国人観光客の満足度を高め、外国人が個人で周遊できる地域とするための受入環境整備や、管内市町が連携、協力したスポーツ合宿受入体制の構築、誘致活動の実施の支援等について、市町と連携して実施する。	6,000
8	海・山・川！！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業 【推】	28 ~ 31	バリアフリー対応型ホテルなど檜山管内独自のストックを生かし、高齢者や障がい者が楽しく観光体験できる環境を整えることで、周辺地域のバリアフリーレジャーの拡大を図り、当事者だけでなく、その家族、友人などの誘客促進にもつなげる。 また、管内7町が一体となり取り組むこと、福祉と観光が連携し観光資源の磨き上げを行うことで、バリアフリー観光マーケットのみならず、着地型観光の振興や、高齢社会における観光客受入体制の整備にもつなげていく。	10,276
9	大雪の魅力発信事業	29 ~ 33	旭川市による大雪カムイミンタラ地域連携DMO設立などを契機として、管外から来訪した大雪山登山客等の動向及び潜在的な意向や先進事例の状況を調査し、関係者と共有した上で、大雪山ブランドの向上につながる方策の検討を進め、自然保護・登山者の満足度・産業振興の3つが調和した観光地づくりを推進する。	3,478

10	西蝦夷300年新交流時代創造事業 〈Step2〉  【推】	29 ~ 31	交流人口拡大や管内観光入込客数の増加に向けて、外国語対応のWeb連携型ガイドブック作成や、市町村などとの協働を進めるための地域版DMOの準備組織づくりを進め、DMOに対する関係者の理解の深化を図るとともに、当該組織による広域観光や課題解決に資するプロジェクトを実施し、DMOとして安定的な運営を行うノウハウを身につける等、地域版DMOとしての役割を果たす力を強化していく取組を実施する。	6,543
11	てっぺん宗谷へ！ コラボDE移住・担い手対策事業	27 ~ 31	人口減少や基幹産業の担い手不足が喫緊の課題とされている宗谷地域において、「発信力」「戦略力」「地域力」の強化を図り課題解決へと導くため、首都圏の大学へのプロモーションや就業体験ツアーを実施する。 (事業費 Act 1、Act 3 地域創生推進事業5,554 Act 2 地域政策コラボ事業3,538)	3,538
12	若手の力で宗谷をかえる！「SOYA fresh ☆network」事業	29 ~ 31	これからの地域を担う若者が、宗谷について学びながら地域課題を共有し、その解決に向けて話し合うなど、若手世代の資質向上及び連携体制の構築を図ることにより、宗谷地域の一層の発展を目指す。	1,907
13	オホーツク統一イメージの形成・発信プロジェクト	29 ~ 31	管内18市町村が連携して、これまでにない大規模プロモーションを実施。「オホーツク」のイメージアップや浸透を図ることができる「統一イメージ」を形成する。振興局では、イメージ戦略のバックアップを図るため、オホーツク地域の優れた農林水産物等のブランド化、流水や世界自然遺産知床等観光資源の磨き上げなどにより、食と観光を始めとするオホーツク地域ブランドを創出、形成された統一イメージを全国・全世界へ発信する。	6,000
14	十勝アクティブシニア移住交流促進事業  【推】	29 ~ 31	健康的で活動的なシニア層（アクティブシニア）の十勝地域への中長期的な移住・交流を図るため、十勝の魅力を生かした体験メニューの開発や情報発信等の事業を市町村等との連携により実施する。	5,630
15	北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業  【推】	29 ~ 31	くしろ地域の交流人口を拡大し地域の活性化を図ることを目的に、「くしろ圏観光キャンペーン推進協議会」及び「北海道釧路地域・東京特別区交流推進協議会」を母体として、くしろ地域特有の自然や体験型観光、温泉、森林浴等の地域資源を活かした魅力ある教育旅行やヘルスツーリズム向けの観光商品を開発し、首都圏をメインとしたプロモーション活動を管内市町村及び東京特別区と連携して実施する。	6,000
16	自然と食の魅力あふれるオール根室ブランド強化推進事業	28 ~ 32	人口減少問題に対応し、根室地域の域外からの交流人口の増加、観光産業の振興を図るため、自然と食を活かした教育旅行や大学ゼミ合宿の誘致や、自然観光に訪れる個人旅行者（外国人を含む）の受入体制の整備など、地域一体となった広域的な観光地づくりに取組む。	2,906
				75,740

【推】は、国の地方創生推進交付金を活用する事業